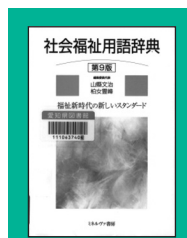


愛知県図書館のバリアフリー

図書館はさまざまな人が利用する施設です。障害のある方、高齢者、妊娠中の方や小さなお子さま連れの方など、誰もが使える図書館にするためには、バリアフリーやユニバーサルデザインの視点は欠かせません。

バリアフリーとユニバーサルデザイン

- バリアフリーとは、障害者のための物理的な障壁を取り除くことを指しますが、今日では物理的な障壁だけでなく、制度や、心理、情報のバリアフリーなど障害者を取り巻く生活全般に関連する概念と考えられています。
- ユニバーサルデザインは、バリアフリーを発展させた考え方で、障害のある人を特別に対象とするのではなく、すべての人に使いやすい製品、環境、情報のデザインを目指すものです。



出典：『社会福祉用語辞典 第9版』ミネルヴァ書房（2013）

愛知県図書館の施設には、バリアフリー、ユニバーサルデザインが取り入れられています。また、目や耳の不自由な方の読書を助ける機器や資料も揃えています。

閲覧フロア



移動の障害となる段差をなくしたフラット構造です。

書架



車椅子で通行できるよう、書架をゆったりと配置しています。

多機能トイレ



オストメイト対応設備（1,3F）、オムツ交換台、幼児イス、子供用便座を設置しています。

エレベーター



低位置に操作盤と手すりを設置しています。

点字案内板



目の不自由な方のための点字サインを組み入れた案内板です。

駐車場



車椅子での乗降可能な専用スペースを設けています。